

設 立 趣 旨 書

【1 社会的課題の現状・背景】

相模原市では、子どもの孤食、家庭環境の困難、不登校の増加、放課後に安心して過ごせる居場所の不足といった課題が深刻化している。特に小学生から高校生にかけては、「一人で過ごす時間の増加」や「相談できる大人や仲間の不足」が顕著となり、自己肯定感の低下や社会的孤立につながっている。こうした状況は、家庭や学校だけでは十分に対応しきれない地域全体の教育・福祉課題として顕在化しており、子どもが日常的に安心して過ごせる第三の居場所の必要性が高まっている。

【2 望ましい状態】

子ども一人ひとりが地域の中で安心して過ごし、食事・学習・交流・相談を日常的に得られる環境が整っていること。また、不登校や生きづらさを抱える子どもが「自分はここにいてよい」と感じられる居場所を持ち、地域住民や若者と自然に関わり合える、温かく開かれたコミュニティが形成されている状態が望ましい。

【3 望ましい状態に向けた解決策】

当法人は、次の取り組みを柱として、子どもたちの孤立を未然に防ぎ、健やかな成長を支える。

- (1) 毎日開設する常設型子ども食堂の運営
- (2) 食事・学習・交流・相談が一体となった子どもの居場所の提供
- (3) 高校生スタッフによるピアサポート体制の構築
- (4) 食育、生活支援、職業体験、進路相談等の機会提供
- (5) 地域住民と子どもが自然に混じり合う交流の場づくり

これらの複合的な支援を通じ、子どもたちが地域の中で支え合いながら成長できる環境を創出する。

【4 これまでの活動】

私たちは2025年4月任意団体を設立し6月より「子ども食堂&カフェラウンジ『マルカート〜未来への一皿』」を開設し、食事提供、学習支援、交流活動を行ってきた。開設から約半年間で延べ約1,100名の利用があり、高校生スタッフ12名が中心となって運営に関わる中で、「支えられる側から支える側へ」という循環が生まれている。また、不登校の子どもが安心して過ごせる居場所としての機能も高まり、地域住民からの協力や寄付も徐々に広がってきている。

【5 法人としての活動および公益性】

当法人は、次の事業を通じて公益の増進に寄与する。

- (1) 常設型の子どものための食堂の運営に関する事業
- (2) 子どもの居場所づくり事業（居場所・食事・学習・相談）
- (3) 子どもへの食育に関する事業
- (4) 子どもの発達および成長を支援する事業
- (5) 地域交流およびボランティア育成に関する事業

これらの活動は、不特定多数の子ども・若者・保護者・地域住民に開かれたものであり、特定の者の利益を目的とするものではなく、公益の増進に直接資するものである。

【6 なぜ特定非営利活動法人が必要か】

本活動の公共性と透明性を高め、長期的かつ安定的な運営を実現するためには、特定非営利活動法人としての法人格が不可欠である。法人化により、助成金や補助金の活用、市民からの寄付の受け入れ、会計の適正管理を可能とし、高校生スタッフを含む運営体制をより強化することができる。これらを通じて、社会的信頼を確立し、地域に根ざした持続可能な子どもの居場所づくりを進めていく。

令和7年12月19日

法人の名称

特定非営利活動法人 未来への一皿

設立代表者

石田 直樹